

観光白書 2020

第Ⅳ部

令和 2 年度に講じようとする施策

概略

2020/06

株式会社 CSL

コンテンツストラテジー研究所

はじめに

コンテンツストラテジー研究所は、6月16日に閣議決定された、観光庁「観光白書2020」の中から、第Ⅳ部の「令和2年度に講じようとする施策」の概要をまとめました。

概要を読み進むに当たって、以下の点に留意することが今後の施策を理解するうえで大切と考えます。

- 国の観光推進の経営意思として大枠の方向性を読み取ることが必要
- 赤字で表記される新たな用語はチェックする必要がある

また、各省庁が観光の方向性での新規予算獲得が容易のため、個別に挙げた事業が縦割りの弊害のため錯綜しているので注意が必要です。

今後は、前傾姿勢の国の取り組みで全国の観光地が再編成される可能性が大きいと考えられ、総じて次第にインバウンドに傾斜していくと思われます。

観光白書 2020

第Ⅳ部「令和2年度に講じようとする施策」概略

第1章 対コロナ、観光関連の回復から成長軌道へ

《事業継続が大前提》

- 反転攻勢に転じるための基盤の整備
 - ・今を反転攻勢の助走期間に
 - ・宿泊施設へのアドバイザー、従業員向け語学研修を行う通訳案内士の派遣。
集客力の高い滞在型コンテンツへの磨き上げ
- 国内旅行の需要喚起
 - ・GOTOトラベル【クーポン】
 - ・新しい生活様式による旅行スタイルの在り方の検討
 - ・滞在型旅行促進、働き方改革ワーケーション
- インバウンドの回復
 - ・状況を見ながら訪日プロモーションを国別に展開

第2章 終息後を見据えた観光施策

8割の国内市場、成長の可能性が著しく高いインバウンド、今を助走期間として取り組む

第1節 外国人が真の意味で楽しめる仕様に変えるための環境整備

1. 観光地

- キャッシュレス（ATM設置増）推進
- チケット購入、体験型観光の充実
- 道の駅の拠点化
 - ・6次産業推進、着地型商品販売
- 良好な治安を体感できる環境整備
- 景観に優れた観光資産の保全、観光地の魅力向上
- 居心地がよく歩きたくなる街：まちなかウォークアブル推進事業
- 無電柱化
- 日本の美しい森お薦め国有林、日本風景街道、超小型（1～2人）モビリティ導入。
離島、半島観光資源、河川敷の活用（緩和）

- 民間による街づくり環境整備
 - ―会議施設拡充
- 宿泊業の生産性向上
 - ―シンポジウム、ガイドライン、モデル事業推進
- 中小企業のIT化促進
- 人材育成強化
 - ・トップ人材 一橋、京都大学観光MBAの横展開
 - ・中核人材 産学連携、専門職大学
 - ・即戦力人材 共同採用、労務改善、シニア、女性採用、外国人採用（法律改正）**国家戦略特別区域制度活用したクールジャパン・インバウンド外国専門人材の就労促進**
- 宿泊施設不足対応
 - ・旅館のインバウンド対応**支援**（費用の3分の1、～150万）海外ホテル事業者進出支援、バリアフリー化
 - ・新たなビジネスモデル（生産性向上、インバウンド対応）**富裕層対応人材育成**
- ユニバーサルデザインの推進
- 地方商店街における観光需要獲得、伝統工芸品等の消費拡大
 - ・免税店増、消費喚起支援、優れた地方産品500品目**[The Wonder500]**事業、発信推進、**伝統工芸産地**受け入れ促進、保税売店市中展開、**スマートリゾート**周知、水平展開

2. 交通機関

(1) **地方創生回廊**の完備

- ジャパンレイルパス購入環境整備（インターネット購入等）
- 日本版**MaaS**（公共交通機関による観光地周遊観光消費の増加を促す仕組み）公共交通機関のデータ化、キャッシュレス化
- AI オンデマンド交通**等の新型輸送サービス導入
- TOKYO SUPPORTERS PASS**等企画乗車券造成販売促進
- 新幹線全駅（108）の観光拠点化とその機能強化
- バスタプロジェクト全国展開、高速道路ナンバリング整備
- インバウンド船旅振興制度**による新航路開設
- 国内戦略特区内での**自家用車有償観光旅客等運送事業**
- インバウンド向け**周遊ドライブパス**（乗降自由な周遊定額パス）
- 道の駅を拠点とした自動運転サービス（実証実験:秋田かみこあに）
- ビックデータによるレンタカー利用のインバウンド事故状況資料収集

- 鉄道利用促進
 - 二次交通、新たな交通サービスの整備
 - 北方領土隣接地域周遊促進
 - 北海道ドライブ観光促進プラットフォーム構築
- (2) 公共交通利用環境の革新
- 主要公共交通機関の海外インターネット予約促進
 - 都市交通ナンバリング促進
 - 世界水準のタクシーサービス
 - ・配車アプリの海外のものとの連携、外国語対応ドライバー、多言語タブレット、キャッシュレス、ユニバーサルデザイン、プライベートリムジン（認定）等
 - 手ぶら観光の普及促進
 - ・手ぶら観光カウンター機能向上（免税品の海外直送）
 - まちあるき満足度向上
 - 訪日外国人旅行者のストレスフリーな交通環境の実現
 - インバウンドの移動に関するデータ（FF-Data）整備
 - 安全対策を前提とした貸し切りバスの利用促進
 - チケットレス環境整備促進
- (3) 非常時における訪日外国人旅行者への情報提供の充実
- 非常時における情報提供充実（A2-BCP）（災害時空港機能の保持および早期復旧に向けた目標時間、関係機関の役割分担を明確化した計画のガイドライン）
3. 文化財・国立公園
- 多言語解説の整備充実
4. 農泊
- 環境整備、国内外プロモーション、専門家派遣

第2節 地域の新しいコンテンツ開発

1. 文化財

- 環境整備、文化財を中核として観光拠点200、Living History（生きた歴史体験プログラム）事業の周知、整備
- 学芸員に対する観光振興講座
- ポータルサイトの充実（文化情報プラットフォーム）
- 美術館、博物館における参加・体験型教育プログラム促進（国立文化財機構文化財活用センター）
- 文化庁の組織改革 京都移転に向けて

- 地域の文化資源を活用した観光振興・地方創生拡充強化
 - ・観光拠点形成モデル（弘前、丹波篠山、長崎）
- 文化の国際発信力の向上
- 世界文化遺産の観光への活用
 - ・文化芸術資源を活用した地域活性化
- 日本博をはじめとする文化プログラム
- 地域におけるインバウンドに対応した新たな文化観光拠点の整備
- 夜間コンテンツ開発
- 地域ゆかりの文化遺産の地方展開促進による地域活性化（40件）
- メディア芸術に関する発信強化

2. 国立公園

- 環境整備、エコツーリズム推進
- 国立公園満喫プロジェクト（8）** **ステップアッププログラム2020**に基づき
インバウンド1000万人目標
- 上質感のある滞在環境創出
- 海外への情報発信強化
- 新宿御苑情報発信強化
- 野生動物観光コンテンツ**づくり推進
- ビジターセンターのインバウンド対応強化

3. 公的施設・インフラ

- 歴史、伝統にあふれる公的施設の公開、解放
 - ・迎賓館赤坂離宮、京都迎賓館、総理大臣官邸、皇居、皇居東御苑、三の丸尚蔵館、京都御所、京都仙洞御所、桂離宮、修学院離宮、御料牧場、埼玉鴨場、新浜鴨場、信任状捧呈に係る馬車列、造幣局本局【大阪】首都圏外郭放水路、大本営地下壕跡、日本銀行
- 地域振興の資する観光を通じたインフラ活用
 - ・**インフラツーリズム**推進

4. 古民家、城泊、寺泊

- 重要伝統的建造物群保存地区、歴史的風致維持向上計画認定都市200地域で展開
- 人財支援、育成、情報影響、DMOを活動主体、情報発信、金融公的支援促進、地域おこし企業人交流プログラム及びふるさと納税を通じたクラウドファンディング、地域おこし協力隊等の起業支援
- 小規模不動産特定共同事業等の不動産証券化手法**を用いて**空き家、空き店舗、公的不動産（PRE）**等の遊休不動産を地域資源として活用
- 新規性、モデル性の高い**地域経済循環創造事業交付金**（ローカル10000プロ

ジェクト)により支援

- 重要伝統的建造物保存地区における**宿泊施設、交流施設**等への整備支援
 - ・都市計画法、消防法改善
- 自然を満喫できる**グランピング**拡大支援 8 か所行う
- 地域住民との交流、文化体験等の民泊との組み合わせのモデルケース創出
- 古民家宿泊施設へのリノベーション金融支援

5. 農林水産関係の地域資源

- ディスカバー農山漁村(むら)の宝の選定
- 多様な地域の食とそれを支える農林水産業や特徴のある風土、伝統文化等の魅力で訪日外国人を誘客する重点地域を**SAVOR JAPAN**認定
- インバウンドが帰国後も日本食・食材を消費、購入できる仕組みづくり
- 世界農業遺産、日本農業遺産の情報発信
- 農泊と連携した**ジビエ**料理開発推進

6. 観光地・交通機関

- 楽しい国日本の実現に向けた観光資源活性化に関する検討会議**提言に沿った最先端観光コンテンツ開発育成
- 我が国の生活・文化に触れる体験機会の提供
- ナイトタイム等の活用による新たな時間市場の創出
- 海岸資源の活用のため**はまツーリズム**推進プロジェクト推進
- チケット購入の容易化
- プレジャーボート等によるクルーズ観光のモデルルートである**マリンチック街道**推進となりンアクティビティ利用の活性化
- 海や船の楽しさを伝える**C to Sea**プロジェクト推進
- 船旅の魅力向上や新しい海事観光コンテンツ創出に向けた取組の推進
- 海事情報のインターネット検索の容易化、情報拡充
- フライ&クルーズの推進
- 地域の医療の観光資源化**(長期滞在型)
- 国際競争力の高いスノーリゾートの取り組み推進、スノーリゾートの投資
- 環境整備に関する検討会を踏まえてDMO中心に
- アドベンチャーツーリズム推進
- (株)地域経済活性化支援機構(REVIC)**により活性化推進

7. サイクルツーリズムの推進

- 昨年指定した第一次ナショナルサイクルルートの情報発信強化

8. 通訳案内士・ランドオペレーターの質の向上

- 通訳案内士
- スノー分野、自転車ガイドツアー等体験型アクティビティの質向上

- 通訳案内士の魅力向上情報発信
 - 全国通訳案内士、地域通訳案内士登録情報一元化
9. サイクルトレイン、観光列車等の普及促進
- サイクルトレイン、移動そのものを楽しむ観光列車導入促進
10. 外国人患者受け入れ観光整備
11. クルーズ船受入れの更なる拡充
- 国内クルーズ周遊ルートの拡充
 - 新たなクルーズビジネスの確立
 - ・みなとオアシス登録促進
 - 全国クルーズ活性化会議主体で推進
 - 海外富裕者層所有スーパーヨット受入れ拡大
12. 景観に優れた観光資産活用による観光地の魅力向上
- 沖縄観光強化 沖縄観光ステップアップ 2017 に沿って 沖縄振興特別推進交付金で
 - 河川空間と街空間の融合 水辺空間のオープンカフェ、川床
 - 離島地域による滞在型観光推進 特定有人国境離島地域社会維持推進交付金
13. 日本映画の海外発信
14. スポーツツーリズムの推進
- 武道ツーリズム推進方針に基づき組織化、調査
 - スポーツ文化ツーリズムアワード・シンポジウム実施
 - スポーツコミッションの育成

第3節 日本政府観光局と地域の適切な役割分担と連携

1. 観光地域づくり法人を核とする観光地域づくり推進
- 世界水準のDMOの在り方に関する検討会を踏まえて作成された観光地づくり法人の登録制度に関するガイドラインに基づき底上げを図る
 - ポテンシャルの高い地域を重点的に支援
 - 情報支援（ビッグデータ活用等）人的支援（マッチング等）関係省庁連携支援
 - 官民ファンド支援（株式会社海外需要開拓支援機構による瀬戸内7県広域連携DMO）
2. 地域（地方公共団体・観光地域づくり法人）と日本政府観光協会の適切な役割分担
- 地域が主体的に進めた事業を集約し政府観光局として全体最適を図る
 - DMOの改革を図る
3. 地域への支援と地域間の連携強化

- 日本政策金融公庫、日本政策投資銀行による金融支援
 - DMOに財務体質強化のため財務責任者:CFO設置
 - 研修強化
4. 広域周遊観光の促進
- 滞在コンテンツの充実
 - テーマ別観光による地方誘客
 - 日本貿易振興機構JETROのビジネス関係者招聘、情報発信
 - 観光ビジョン推進地方ブロック戦略会議の活用
 - ガーデンツーリズム登録制度を通じて観光ルート構築（新潟庭園街道）
5. 各地の魅力ある地域資源の活用
- 地域産品を活用した新商品・サービス開発
6. 優れた地域産品等の活用による地方誘客
- JETROと地域産品輸出、インバウンド促進支援
7. 旅行業務取扱管理者確保事業による旅行商品企画提供の解禁
- 農家民宿事業者による着地型商品企画販売
8. 地方公共団体への情報提供や継続支援の実施
9. 人的支援
- 地域おこし企業人交流プログラム、地域おこし協力隊の起業支援、研修
10. 訪日プロモーションの戦略的高度化
- グローバルキャンペーン拡大
（英、独、仏、伊、スペイン、露、米、カナダ、豪、メキシコ）
 - 戦略的プロモーション 欧米豪
 - 東北PR、東京2020 ディストネーションキャンペーン
 - beyond2020プログラム（日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシー創出に資する文化プログラム）推進
 - スポーツツーリズム推進
 - 日中韓連携によるビジット・イースト・アジアキャンペーン
 - アジアにおける大規模キャンペーンの推進
 - 4者（経産省、観光庁、日本貿易振興機構、日本政府観光局）連携情報発信
 - スノープロモーション（中国、欧米豪）
 - 海外旅行代理店販売員人材育成支援
 - 新たな市場からの誘客促進（中東、メキシコ）
 - SNS等を活用したプロモーションの高度化（インフルエンサー連携）
 - 欧米豪を中心とした富裕層に向けた取組
 - ジャパン・ハウス（サンパウロ、ロンドン、ロサンゼルス）からの日本の多様

な魅力情報発信

- 外務省、地方公共団体共催 地方が誇る視察ツアー（4回）
- 飯倉公館（外務省）活用情報発信（PRレセプション 2回）
- 在外公館、独立行政法人国際交流基金JFが行う文化事業を通じて支援
- 放送コンテンツを通じた支援
- 株式会社海外通信・放送・郵便事業支援機構JICTを通じて支援
- NHKワールド Japan を通じて支援
- 総務省、経産省、外務省、官公庁、農林水産省連携による地域の魅力情報発信
- 海外日本庭園再生
- 日本語教育拡充による親日層の育成（独立行政法人国際交流基金JF）
- 風評被害を最小限に抑えるプロモーション
- アイヌ文化の発信（民族共生象徴空間：ウポポイ 年間100万人目標）
 - ・ 海外メディア招聘、在京海外メディア記者向けプレスツアー
- 旅客船、フェリー利用促進
- 訪日教育旅行活性化
 - ・ スーパーグローバルハイスクール指定校にて帰国、留学生受け入れ
- 鉄道観光資源の魅力発信 外国人観光旅客を対象とした地方部における鉄道利用促進に向けたガイドラインにて周知を図る
- ホストタウンの推進 東京2020大会を通じて交流を図るホストタウンを全国に広げる

第4節 観光インフラの整備

1. 出入国の円滑化

- バイオカードの拡大（指紋等の個人識別情報を前倒しで取得）
- 台湾とのプレクリアランス（事前確認）
- 自動化ゲートの対象者拡大
- 日本人出国手続きにおける顔認証記述を活用した自動化ゲート導入
- 個人識別情報を活用した外国人出国時の自動ゲート利用拡大
- 入国審査待ち時間等空港での諸手続きに要する時間の公開
- FAST TRAVEL の推進（旅客動線の横断的効率化、高度化）
- 先進的な保安検査機器の導入
- CIQ体制の強化による円滑かつ厳格な出入国手続き
- 先進的で最高水準の技術を活用した個人識別情報システムの導入
- 税関検査上電子申告ゲート等の導入
- ファーストレーンの整備促進
- 乗客予約記録の分析活用的高度化

- E Dカード、在留資格認定証の電子化
 - 検疫の環境整備
 - ビジネスジェット受け入れ環境改善
2. **ビザの戦略的緩和**
3. **空港**
- 空港コンセッションの推進
 - ・ 地方空港のゲートウェイ機能強化、広域観光振興を図る
 - 地方空港の着陸料軽減のための支援
 - 首都圏空港の容量拡大（年間 100 万回）
 - 操縦士、整備士の養成確保
 - 空港地上支援業務の省力化、自動化
 - 空港アクセスの利便性向上
4. **M I C E I R**
- M I C E 推進関係府省連絡会議開催
 - **ユニークアベニュー**の利用促進
 - **プレ・ポストM I C Eプログラム**の推進
 - ・ ビジネスの行程の前後に休暇を追加し余暇目的の旅行を実施する**プレジャー**の活用を推進する
 - 官民横断組織でのオールジャパン体制での支援
 - ・ M I C E 国際競争力強化委員会提言を通じ、ミーティング・インセンティブ推進会議の運営等でその祖寄進を図る
 - M I C E 経済波及効果算出
 - 人材育成協議会開催
 - ・ 体系的人材プログラムに沿って人材育成、コンサルティング支援
 - インセンティブ旅行誘致拡大
 - データを活用した誘致強化
 - 施設のコンセッション方式活用推進
 - スポーツM I C E 誘致
 - 農産品輸出促進に向けた活用促進
 - 国際仲裁の活性化

第5節 更なる観光振興を図る主要施策

1. 休暇改革

- 2018 有給休暇取得率 52%を 70%に
- 休暇取得の分散化による観光需要の平準化、働き方・休み方改革

2. **持続可能な観光地**づくり

- 持続可能な観光推進本部（観光庁）における持続可能な観光指標に基づき推進
3. 若者をはじめとした海外旅行促進
 - 旅行安全情報等に関するプラットフォーム構築
 - 観光に関する教育充実に向けた取組
 - 若者や学生の観光をテーマにした教育機会の充実
 4. 国際観光旅客税の活用
 5. 東北の観光振興
 - 復興観光拠点都市圏（宮城県並びに仙台市及び周辺の6市3町）への重点的支援
 - ディストネーションキャンペーン
 - 東北6県見るもの・食べもの・買いもの100選
 - 東北観光復興対策交付金による重点的支援
 - 防災学習を含めた教育旅行の再興（福島）
 - 東北の空港への国際便等の新規就航、増便支援
 - グリーン復興プロジェクトの推進
 - ・名取トレイルセンターを拠点として推進
 6. 観光立国ショーケースの形成推進
 - 釧路、長崎、金沢に優先的支援
 7. 観光統計
 - 地域単位の統計の充実
 - 訪日外国人旅行者の移動に関するデータ（F F - D a t a）整備

この件に関するお問い合わせは以下までご連絡ください。

株式会社 CSL コンテンツストラテジー研究所

<http://csljp.com/>

郵便番号：162-0822

住所：東京都新宿区下宮比町 2-28

飯田橋ハイタウン 828 号

電話：03-3235-6158（窓口：望月）

メール：info-csl@csljp.com